

2019/12 合格体験記 M.S (通信生、40代)

2次試験初受験で、合格することができました。MMCの合格体験記は、通学生の方の投稿が目立ちますが、私のように通信生でもしっかり結果を出していることを、これからの受験生の方に伝えたい思い、今回合格体験記を投稿させていただくことにしました。通信受講を検討されている方のご参考になれば幸いです(ちなみにMMCから合否報告や、合格体験記の寄稿を求められたことはなく、本稿は自発的に行うものです)。

<受験歴>

1次試験 2回、2次試験 1回

2018年 1次試験3科目合格、同年冬 応用情報技術者試験合格により「情報」免除

2019年 1次試験残り3科目合格、同年2次試験合格

<MMCを選んだ理由>

ネットでの評価が一番高かったからです。昨年の応用情報技術者試験合格により1次試験の負担が大きく減ったため、2019/1より2次試験対策に着手。地方に勤務しているため通学はできず、通信を受講しました。受講するために複合機を購入しました。

<GWまで>

最初に大量の教材が到着し、何から始めようか思案しましたが、YouTubeでの授業を見ながら、「学習ガイドブック」を何度か読んでみました。評判の「MCサークル」や「金型法」「キーワードマトリクス」がいきなり登場し、2次試験対策を始めた充実感がありました。しかしいざMMCの課題を解こうとすると、1事例解くのに3時間を要することがザラでした。にもかかわらず添削いただいた点数も良かったり、悪かったりで安定しませんでした。通信課題をこなしていくうちに、徐々に解答に要する時間が短くなってきました。又、採点結果が却ってくるのが楽しみでもありました。GW以降は1次試験の残り科目の対策に専念しました。

<1次試験以降>

MMC通信の受講を再開。再開後最初に添削いただいた事例Iは40点台！しかし通学生の方はきっちり80分で解いて平均60点近くあり、力の差を感じました。再度MMCの解法を学び直し、過去問に取り組んでは、MMCの解答と付け合わせをする、といったことを過去10年分×2回行いました。以降は、MMCの通信添削の点数も60点前後で安定するようになってきました。又、教材の「財務応用計算問題」は秀逸であり、こちらも1次試験以降、2回転取り組みました。

<個別アドバイス付き模試>

模試は1回しか受けませんでした。第四回模試を個別アドバイス返却付きで申し込み、東京までアドバイスを頂きに行きました。中央大学駿河台記念館の廊下で自分の番を待っていると、突然中居先生が出てこられて「うわ、本物が出てきた！」と純粋にびっくりしました。何分こちらはYouTubeでしか見たことがないので笑。教室に入ると徳川先生も見かけました。対応していただいたのは中矢先生でした。採点結果と自分の予想とのギャップがあったことを述べると、「そのギャップが発生した理由を理解し、埋めることで得点が安定する」と、点数につながる考え方を教えていただきました。又このときのご指導で事例Ⅲへの苦手意識がなくなりました。厳しいご指摘もいただきましたが、「全体的には順調です」ともお褒めいただき、自信を持つことができました。結果は上位15%に入っていました。

<直前期・試験当日>

オプションの「ファイナル財務事例講座」(通信)を試験直前2週間で時間を測って2回転させました。この取り組みにより計算処理能力がピークの状態の本番を迎えることができ、本番の事例Ⅳでは設問3-3以外は全て正解することができました。(3-3も計算過程は合っていましたが、捨て問と割り切り最後に回したため計算する時間が足りませんでした。部分点は入ったと思います)。又「学習ガイドブック」は直前期にも何度も読み直し、試験当日も自作のファイナルペーパーとともに、試験開始ギリギリまで見返しました。

<最後に>

市販の教科書にも手を出しましたが、振り返ってみるとMMCの教材を何度も繰り返すことで十分合格レベルに達することができると思います。今年の2次試験は傾向が変わったと言われますが、MMC受講生は織り込み済で対応できたのではないのでしょうか(試験直前に先生方からいただく激励メールを読めばわかります)。試験場で閃いたアイデアを書くのではなく、MMCで学んだことを置いてくるだけです。それで合格できました。

最後にMMCの先生方、本当にありがとうございました。本試験の再現答案添削では中矢先生に「十分に合格を狙える」と評価いただき、その通りの結果を得ることができました。今後は合格者として、診断士として、受験生に自信を持ってMMCを推薦していきます。

以上